



## 引き続きウクライナ緊急募金にご協力ください。

### （ウクライナ危機） 深まる子どもの権利の危機

2022年6月14日 ニューヨーク発

14日、ニューヨークの国連本部で行われた定例記者会見において、ユニセフ（国連児童基金）・欧州・中央アジア地域事務所代表のアフシャン・カーンが発言した内容を一部抜粋してお伝えします。

### 「子どもの3分の2が国内外で避難生活」

先週私はウクライナに滞在し、紛争の影響を受けた子どもたちやその家族と会い、ユニセフの重要な人道支援をこの目で見てきました。キーウ、イルピン、ブチャ、ジトーミル、リヴィウを訪問し、ウクライナでの紛争が国の内外で、また地域や国境を越えて世界中の子どもたちに与え続けている甚大な影響を直に見ることができました。繰り返しになりますが、ウクライナの子どもたちの3分の2が避難を余儀なくされています。この数字は驚異的です。彼らは国内避難民となっているか、難民として国境を越えて避難しており、家や友人、おもちゃや大切な持ち物、そして家族と離れなければならない、将来への不安に直面しています。この不安定な状況は、子どもたちから未来を奪っています。トラウマや恐怖は、子どもたちの心身に長期的な影響を与える可能性があります。



© UNICEF/UN0649047/Klochko

ザボリージャにある避難民受け入れセンターで、ユニセフ支援物資のスクールバッグを受け取った子どもたち。

（ウクライナ、2022年5月24日撮影）

### 「子どもに安全なアクセスを」

ユニセフは、1997年にウクライナでの支援を開始し、紛争が激化する中、子どもたちとその家族の生活を守るために支援を届けてきました。現在までに、200万人以上の人々に保健物資と安全な飲料水を提供しています。また60万人以上の子どもと養育者がメンタルヘルスおよび心理社会的支援を受け、18万人以上の子どもが公式教育やコミュニティベースの学習に参加しています。

現在は少しだけ状況が安定してきたウクライナ中部および西部では、自治体やNGOなど、すでにあるサービスや自治体を支援し、強化しています。例えば、スピルノ（SPILNO）・センターと呼ばれる子どもにやさしい空間では、親子でセラピーや心理社会的サポートなどの支援サービスを受けたり、物資や情報を得たり、子どもたちが安全に遊んだり日常を取り戻したりできる場所です。また、親たちが他の親と一緒に座って、束の間の安らぎや共感を得ることができる場所でもあります。

### 「学校の修復は優先事項」

ルピンでは、戦闘で被害を受けた2つの学校を訪問しました。9月に始まる新学期には、約2,000人の子どもの教育がリスクにさらされる恐れがあります。国内の被災した学校の数については確認されていませんが、その数は数千にもなるでしょう。9月に子どもたちが安全な学習環境に戻れるよう、学校の修復はユニセフと政府にとって優先事項です。

政府、企業、個人の皆さまからの惜しみない支援のおかげで、国や周辺地域全体で、極めて厳しい状況に置かれている家族への現金給付支援など、人道的な活動を続けることができています。

ユニセフは、ウクライナにおける即時停戦と、すべての子どもたちを危険から守ることを引き続き求めています。この紛争が続く限り、ウクライナ、周辺地域、そして世界中の子どもたちへの長期的かつ壊滅的な影響は増大し続けるでしょう。

#### ●全国の郵便局（ゆうちょ銀行）窓口からお振込みできます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会

\*通信欄に「ウクライナ」と「K1-350」と明記ください。

\*窓口でのお振込みは、送金手数料が免除されます。

\*寄付は所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。



日本ユニセフ協会  
ウクライナ緊急募金特設ページ

この間、ウクライナ侵攻により大きな被害を受けている子どもたちを心配され、県協会へもたくさんの募金が寄せられました。これらの募金がウクライナの子どもたちと家族を守る人道支援に一刻も早く活かされる様、対応をおこないました。またコロナ禍で対面活動が制限される中、年度方針に従い各地でのパネル展開催に積極的に取り組みました。

## ●ウクライナ緊急募金へのご協力、ありがとうございました。

個人・団体を問わず、たくさんの方々から募金が寄せられました。これらの募金は都度日本ユニセフ協会へ送金をおこない、ウクライナの子どもたちとその家族への医療・衛生・教育等に活かされる様、県協会として迅速な対応をおこないました。お寄せいただいた善意に深く感謝申し上げます。一部となりますが、皆さんに取り組んでいただいた活動を紹介させていただきます。



山口県民主医療機関連合会様では3月末から約1か月間、加盟事業所に募金箱を設置され、ウクライナ緊急募金活動に協力いただきました。5月6日（月）山口県ユニセフ協会の事務局が伺い集まった募金をお預かりしました。募金は翌日、日本ユニセフ協会へ送金しました。

5月31日、アクセサリーデザイナーSeikaの渡辺様からウクライナ緊急募金をお預かりしました。

子育て支援をしておられるNPO法人あっと様（山口県ユニセフ協会の評議員をされています）の企画イベントで、ウクライナの子どもたちの力になりたいというお母さん達の声を受けてウクライナカラーのアクセサリーを作るワークショップを開催されたそうです。

講師をされた渡辺星香様がワークショップ参加費をウクライナ緊急募金として山口県ユニセフ協会に届けて下さいました。



周南国際交流児童クラブ様はウクライナの子どもたちの力になりたいと、3月末から徳山駅周辺、下松市ゆめタウン、周南市徳山動物園にて児童クラブの子どもさんを中心にウクライナ緊急募金活動をされました。

6月4日（土）周南市徳山動物園での募金活動終了後、山口県ユニセフ協会事務局長が募金箱をお預かりしました。

4月17日（日）山口市の維新みらいふスタジアムで開催されたJ2レノファ山口のホームゲームでレノファ山口さまのご協力により、特設ブースを設けていただき、ウクライナ緊急募金活動を行うことができました。

ゲーム観戦に来られたオレンジユニフォームを着た多くの皆さんから、ご寄付をいただきました。



生活協同組合コープやまぐち様からウクライナ緊急募金と一般募金に多額のご協力（それぞれ8,426,995円、2,174,584円）をいただきました。

コープやまぐち様では毎年、店舗・宅配で組合員へユニセフ募金の呼びかけをされていますが、この通常募金に加え4月・5月にウクライナ緊急募金を組合員へ呼びかけられました。

6月27日募金贈呈式がおこなわれ、コープやまぐち理事長 山崎和博様から目録を頂戴し、当協会会長谷澤幸生が、感謝状を贈呈しました。

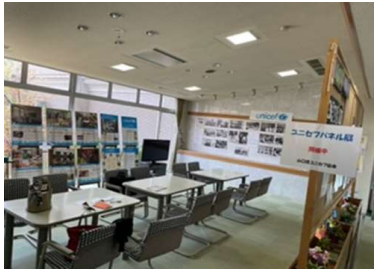
## ●各地でパネル展を開催しました。

2022年度の方針にあげた「県内13市6町全地域での年一回パネル展開催」に従い、春から積極的に展開をおこないました。  
また開催場所にあたっては、会場設定などで、各市町行政のご理解・ご協力をいただきました。

### 美祿市でのパネル展

サンワーク美祿 1階ロビー

2022年4月7日(木)～4月22日(金)開催



ゆったりとしたスペースで、「ユニセフってなあに？」パネル展に合わせ、「戦後日本へのユニセフ支援写真」の展示もできました。  
また施設のご協力で、ウクライナ緊急募金ポスターおよび募金箱の設置もおこなわせていただきました。

### 中学校でのパネル展

山口市立大内中学校 保健室前掲示板

2022年5月11日(水)～5月25日(水)



一昨年係わっていたいでいる先生のご協力で三年連続での開催となりました。  
事前にアナウンスされた日本ユニセフ協会学校事業部の募金呼びかけもあり、5名の生徒さんから募金を託されました。

### 山陽小野田市でのパネル展

高千帆交流センター

2022年5月17日(火)～5月25日(水)



活動される地域の方々の方々の拠点で来場者も多い施設で、昨年に続き開催出来ました。  
ユニセフ活動の紹介パネル「ユニセフってなあに？」に合わせ、「ブルキナファソ支援地視察写真」の展示もできました。  
またウクライナ緊急募金ポスター・募金箱の設置にもご協力いただきました。

### 光市でのパネル展

あいびーく光(光市総合福祉センター)

2022年4月25日(月)～5月16日(木)



健康、子ども・高齢者福祉等の行政窓口が集まっているため、来庁者も比較的多く、常設の展示場所を提供していただいたため、多くの方にご覧いただけました。  
ウクライナ緊急募金ポスター・募金箱の設置にもご協力いただきました。

## ●県協会役員の変更・就任

県協会理事会・評議員会にて、下記の通り役員の変更・就任が承認されました。

### 退任

岡 正朗 (会長理事)  
加登田 恵子 (副会長理事)  
西原 太 (理事)



### 就任

(所属団体及び役職)

谷澤 幸生 (会長理事) 国立大学法人山口大学 学長  
田中 マキ子 (副会長理事) 公立大学法人山口県立大学 学長  
山岡 達 (理事) 中国新聞社防長本社 代表

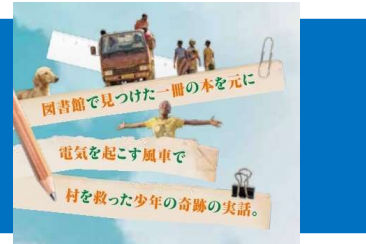
●昨年多くの方から参加申し込みをいただきながら、新型コロナウイルス感染者の急増によりやむなく中止したユニセフ映画観賞会を開催します。  
またパネル展も各地で開催しますので、ご来場をお待ちしています。

## ●ユニセフ映画観賞会参加者募集！

上映作品

THE BOY WHO HARNESSSED THE WIND  
**風をつかまえた少年**

字幕スーパー



- 日時 **8月21日(日曜日)**  
14時00分～(会場13時30分)  
\*上映時間113分
- 会場 **山口県立図書館 レクチャールーム**
- 定員 **先着80名**(コロナ感染対策のため人数制限します)
- 参加料 **無料**
- お申込み **電話でお申込みください**  
\*定員にない次第締め切ります お早めに！  
(申し込み・お問い合わせ先)

**山口県ユニセフ協会**  
☎083-902-2266 FAX083-928-5416  
\*電話受付は月～金10:00～16:00です

23ヶ国翻訳  
世界的ベストセラー  
映画化

第69回  
ベルリン国際映画祭  
公式上映

第35回  
サンダンス映画祭  
公式上映



僕がどうやって  
風力発電で  
未来を  
手に入れたのか。

## ●ユニセフパネル展「ユニセフってなあに？」開催予定

- 阿武町町民センター 7月20日(水)～7月27日(水)
- 山口県庁1Fロビー 7月21日(木)～7月29日(木)
- 宇部市立図書館 8月4日(木)～8月7日(日)  
\*パネル展「アグネス大使ウクライナ訪問(ロシアによる侵攻前)」も同時開催
- 岩国市役所1Fロビー 8月31日(水)～9月5日(月)

パネル展「ユニセフってなあに？」ってなあに？  
世界の子どもたちが置かれている状況と  
その子どもたちへの支援をおこなっている  
ユニセフの活動をわかりやすく紹介します

### ●賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助  
会費によって支援いただく方法です。  
現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いた  
だいています。  
山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	—□ 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	—□ 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	—□ 100,000円

\*賛助会員期間は入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。  
\*一般・学生賛助会員は個人名での申し込みに限らせていただきます。

### 山口県ユニセフ協会

〒753-0083  
山口市後河原210番地  
TEL083-902-2266  
FAX083-928-5416  
E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp  
URL: https://www.unicef-yamaguchi.jp

県協会地図



ボランティア登録、資料請求、その他  
お問い合わせ等は、事務局までご連絡  
ください。  
また、どなたでもお気軽にお立ち寄り  
ください。  
受付日：月・火・水・木・金  
受付時間：10:00～16:00  
山口県教育会館のとなりになります。